

潟のはじまり

昔、新潟は
すべて「潟」だった？

1

戦国時代

(1400～1500年代頃)



潟は 無数 に存在

昭和30年頃

(1955年頃)



湿地の大部分が 干拓

現 代



残ったのは 16 の潟

- | | |
|----------|--------------|
| ① 福島潟 | ⑩ 北上の池 |
| ② 内沼潟 | ⑪ 佐潟 |
| ③ 十二潟 | ⑫ 御手洗潟 |
| ④ 松浜の池 | ⑬ ドンチ潟 |
| ⑤ じゅんさい池 | ⑭ 金巻の池 |
| ⑥ 鳥屋野潟 | ⑮ 上堰潟 |
| ⑦ 清五郎潟 | ⑯ 仁箇堤 |
| ⑧ 北山池 | (⑰ 瓢湖(阿賀野市)) |
| ⑨ 六郷ノ池 | |

潟や湿地が広がっていた越後平野は、江戸時代以降、
放水路や排水路が掘られ、多くの潟が干拓されて農地になり、
さらに一部は住宅地へと変わっていきました。



国際湿地都市
NIIGATA

水との闘い

新潟の「湿地」を造り上げたのは 「農業者」の強靱な魂

2



標高が低く、低湿地である越後平野での暮らしは、常に水が溜まりやすく、洪水などの「水害」に悩まされながら稲作を行いました。



—— 司馬遼太郎の書「街道をゆく」に、こんな記述があります ——

食を得るといふただ一つの目的のために
これほどはげしく肉体をいじめる作業というのは、
さらにそれを生涯くりかえすという生産は、
世界でも類がないのではないか。

司馬遼太郎「街道をゆく - 潟のみち」より

受け継がれた 潟・田

先人の努力は

③ 個性ある「潟」と、美しき「水田」を築いた



福島潟(北区)



烏屋野潟(中央区)



佐潟(西区)



上堰潟(西蒲区)

「潟」は干拓により「水田」へと姿を変え私たちの暮らしを支えてくれています。



生き物との共生

やがて都市ができて

4

「ハクチョウ」や生き物もやってきた



新潟市の鳥「ハクチョウ」は、私たちの暮らしの中で生活しています。



大都市でありながらも、多種多様な生き物と共に暮らしており、
「生物多様性」の恵みと大切さを感じさせてくれます。



人との関わり

わたしたちは、

保全し、活用し、学んでいる

5



2013年頃の佐潟の様子

ハスなどの水生植物の急激な消滅



2018年頃の佐潟の様子

ここ数年、潟の環境は著しく悪化しています。



泥上げ(佐潟)



ハス復活プロジェクト(ハスの育成・移植)



潟舟体験(とやの物語)

潟の整備をはじめ、環境学習など様々な形で、
潟の保全や学習を行っています。



“雁迎火(がんげいび)”(福島潟自然文化祭)



潟料理(福島潟)

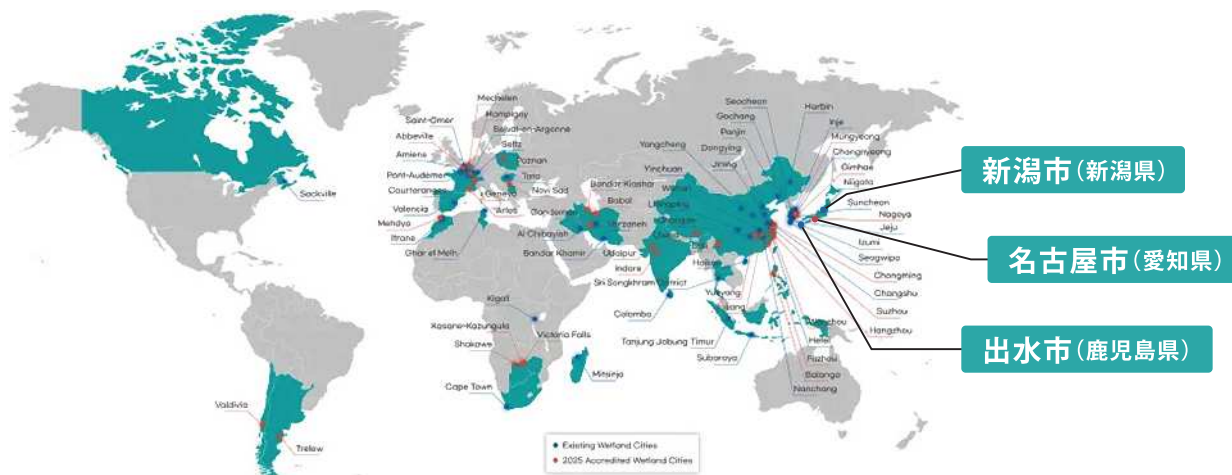
潟を舞台にした集客イベントや
潟の恵みの食材を使った料理など、
里潟として、人との関わりを深めています。

ラムサールと湿地都市

世界に認められ

「国際湿地都市 NIIGATA」の誕生

6



ラムサール条約湿地都市認証

湿地



都市

本来、対立する関係である「湿地」と「都市」を「**湿地都市**」
として融合させた画期的な制度 (新潟大学名誉教授 大熊 孝氏)



世界 27 各国、74 都市が認証されており、
日本では、国内初の認証となる新潟市をはじめ 3 都市だけです。



里潟サインボード(佐潟ほか 8 潟)



「潟フェス 2024」(1F 展示・体験会場)

“湿地”を通して人と自然が共生する都市として
世界に発信するとともに、積極的に活用することで、
田園型環境都市としてのまちづくり、交流人口拡大、
シビックプライドの醸成、多様な主体との連携した
環境保全活動の推進などにつなげていきます。



プロモーション 「潟(かた)のミカタ！」

7

潟や湿地の
「魅力・価値」を発信していきます



湿地カードの作成をはじめ、商品のタイアップや
「TEAM“潟(かた)のミカタ”」の結成などを行いました。



「潟(かた)のミカタ」をキャッチコピーに、
潟の魅力が視覚的にわかる「PR動画」や、アクティビティ・スポットの紹介、
潟のイベントカレンダーなどの、情報集約サイトを開設しています。



国際湿地都市
NIIGATA

◎ エコトーン(移行帯)から着想

- ・湿地環境の大きな特徴のひとつ「エコトーン」。様々なカラーの線の移行帯によって、海や川、潟、田園(稲)、土(砂丘)、都市など多様な環境や文化がつながり関わり合いながら共存している新潟市を表現。
- ・この線の移行帯は、新潟市の土地の形成を象徴する砂丘列にも見立てています。

◎ モチーフをハクチョウに

- ・シンボルマークの形状は白鳥が飛翔する姿を想像させ、大きく翼を広げ世界と新潟を行き来する白鳥が、国際湿地都市 NIIGATA として未来や世界に飛び立つことを表現しています。